

研修目標と研修内容について

職種名「臨床検査技師レジデント(病理検査コース)」

1 概要

病理細胞診断分野における、がん医療に精通した臨床検査技師を養成する。

病理細胞診断以外にも臨床検査業務全般に必要な基本的技術の習得として、検体検査、感染管理、精度管理、生理検査、総合画像診断学、細胞形態学に関する幅広いがん専門知識の習得を図る。

2 研修での到達目標

1) 一般目標

がん専門病院に求められる臨床検査業務の習得

2) 行動目標

- ・病理診断・細胞診断学に関するがん専門知識・技能の習得
- ・臨床検査業務全般に関するがん専門知識の習得
- ・感染症学、検体検査業務に関するがん専門知識の習得
- ・感染管理・精度管理・総合画像診断学に関するがん専門知識の習得
- ・超音波検査に関するがん専門知識の習得

3 実習内容

選択課程以外の研修として、多職種業務、検体、感染症、輸血、生理なども履修することができる。

また、各部署での講義やカンファレンスにも参画し、がん専門病院における臨床検査業務に必要なとされる基礎知識や臨床技術を習得する。

- a) がん疾患全般的な基礎知識の習得
- b) 組織・細胞診検体の取り扱い方、および特殊染色・免疫染色・遺伝子検査の技術習得
- c) 細胞診断学におけるスクリーニングの考え方
- d) 個々のがん疾患における異常データの取り扱い、腫瘍マーカーの理解と解釈
- e) がん治療における臨床検査業務と感染症管理
- f) 超音波、心電図などの生理検査業務や総合画像診断学（CT、MRI、PETなど）の履修
- g) がん疾患に関する基礎知識やカンファレンスへの参画による知識の習得